

別紙2

作業時間改善計画書

生産者名

内容

飼養頭数

合計

0頭

(現状)

	開始時刻	所要時間(分)		1日当たりの作業時間	積算根拠
	終了時刻	作業時間	準備等	(分/日)	
1					
2					
3					
4					
合計		0		0.00	

※所要時間は実測値

(導入後)

	開始時刻	所要時間(分)		1日当たりの作業時間	積算根拠
	終了時刻	作業時間	準備等	(分/日)	
1				0.00	
2					
3					
4					
合計		0		0.00	

※所要時間は推定値(カタログの値等を利用してください)

事業実施効果

	分/日	作業方式
現在	0.00	
導入後	0.00	

削減効果

#DIV/0!

削減効果(%) = (1 - (導入後1日当たり作業時間 / 現状1日当たり作業時間))

作業時間改善計画書(例)

生産者名 ○○農場

内容 出荷豚体重測定作業の概要(令和6年5月1日時点)

飼養頭数	母豚	150頭
	哺乳豚(生後3週未満)	190頭
	子豚(生後10週未満)	390頭
	肥育豚(生後6か月まで)	870頭
	合計	1600頭

(作業時間+準備等) ×
作業人数 × 年間作業日数
/365日

(現状) アナログ豚衡機での測定

	開始時刻	所要時間(分)		1日当たりの作業時間	積算根拠
	終了時刻	作業時間	準備等	(分/日)	
1	9:20	60	20	75.62	1回に30頭の出荷作業が年間15回ある。100kgを超えるような豚を押さえ込みながら体重計に乗せる作業は負担が大きいため、少なくとも男性従業員が2人は必要であり、全体では3人で作業を行っている。前後の準備や清掃に20分、作業に60分かけて体重測定を行っている。
	10:40				
2					
3					
4					
合計		80		75.62	

※所要時間は実測値

(導入後) 体重推定装置での測定

	開始時刻	所要時間(分)		1日当たりの作業時間	積算根拠
	終了時刻	作業時間	準備等	(分/日)	
1	9:50	30	10	25.21	体重推定装置を導入することで、豚を追い込む労力が少なく、作業負担が圧倒的に軽減できる。畜産総合研究センターの試験結果では、測定時間は2人で1頭あたり約10秒と示されており、次の豚への移動含めて作業時間を1頭1分と設定しても作業時間が30分に大幅に削減される。また、2人で対応でき、女性従業員でも作業が可能となる。
	10:30				
2					
3					
4					
合計		40		25.21	

※所要時間は推定値(カタログの値等を利用してください)

事業実施効果

	分/日	作業方式
現在	75.62	アナログ豚衡機での測定
導入後	25.21	体重推定装置での測定

削減効果

66.7%

削減効果(%) = (1 - (導入後1日当たり作業時間 / 現状1日当たり作業時間)) × 100